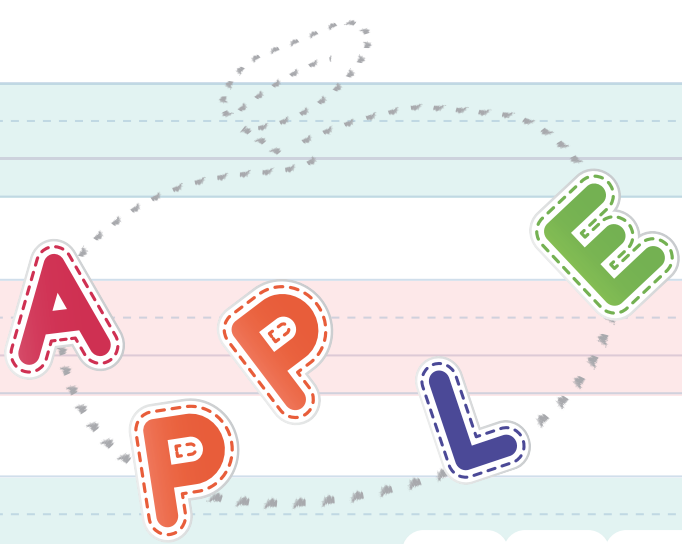
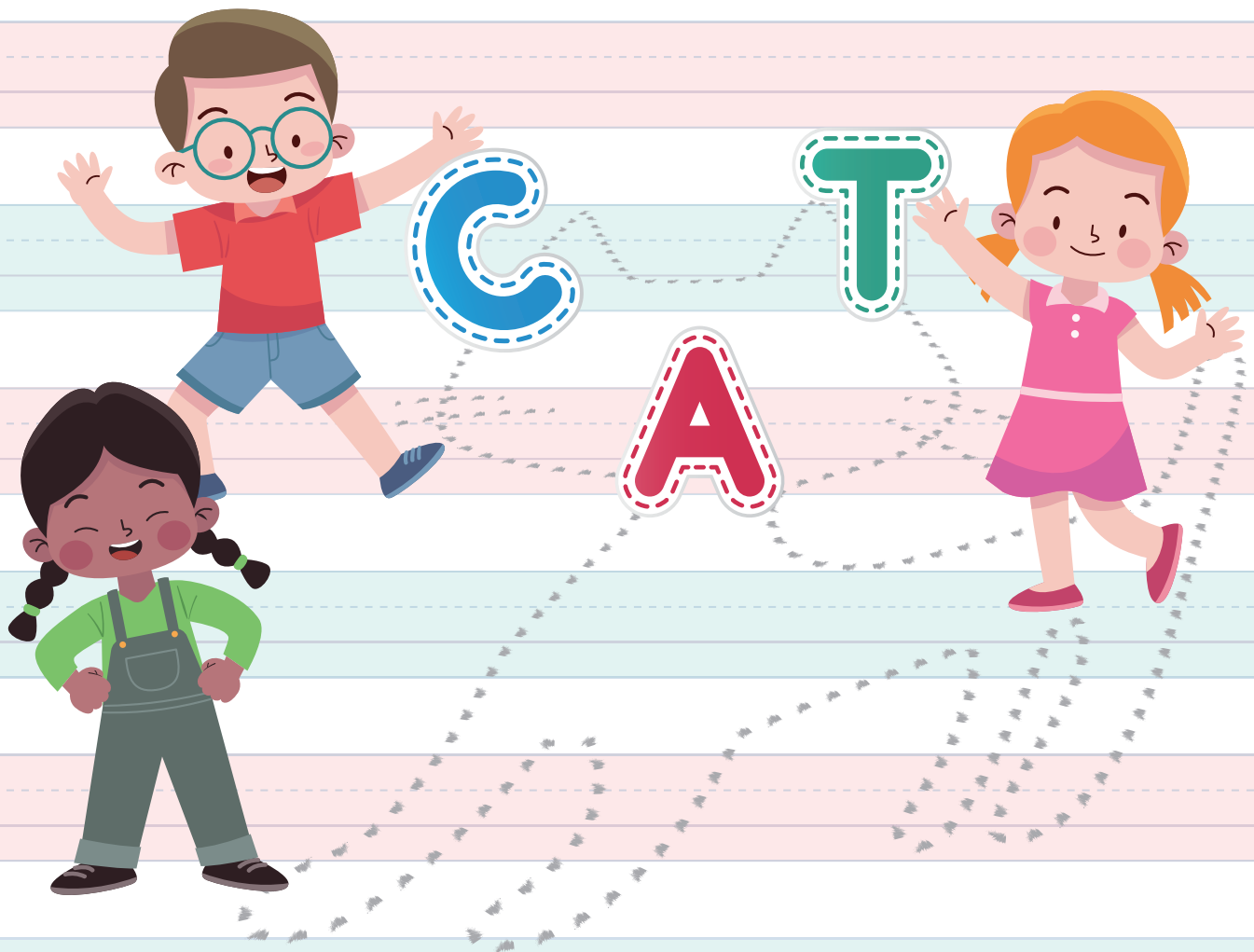




A L P H A B E T

小学校外国語

読み書きのステップと評価



# ようこそ、アルファベットの世界へ！



アルファベット文字や英語の単語が読めるようになると、いつも見ていた世界がまったく違った世界に見えてきます。「Welcomeはウェルカムと書いてあるんだ！」  
「Busはバス。Bus stopはバスが停まる場所だからバス停なんだね」というように、身近な場所に書かれた多くの文字が意味のあるものとなり、どんどん目に飛び込んでくるようになります。自分が「発見」したような、そんな嬉しい気持ちになるのです。

私も、中学校で初めて英語を習ったとき（当時は中学校1年生からの英語の学習でした）、このような体験をし、街の看板や案内版の文字、CMで出てくる英語の文章などが急に読めるようになったことが嬉しかったのを覚えています。

本書では、小学校外国語活動・外国語科のアルファベットの文字指導を中心に、とくに読み書きへとつながる入門期の学習のステップを紹介し、子どもたちの発達のステップとしても見取ることができるように活動を順番にならべています。

冊子の活動例を参考に組み立てれば、子どもたちがアルファベットに親しみ、段々とアルファベットの持つ「名前」（エイ、ビー、シー...）と「音」（ア、ブッ、クッ...）に気づき、そして単語として読めるようになっていく、そうしたステップを経ることが出来ます。子どもたち一人ひとりがその活動の中でどのような様子を見せているのかを記しておけば、それがその子どもの「読み書きの言語発達記録」にもなるわけです。

こうした目的のために、ワークシート的に活動例を示したページだけではなく、先生方が指導するときの発問やポイント、子どもの発達状況を見取る視点を整理した「指導編」を最後に入れました。子どもたちが楽しみながら英語のアルファベットや読み書きに親しんでもらえれば嬉しいです。

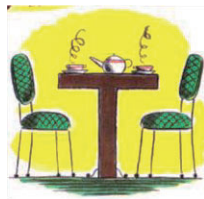
2022年3月 赤沢 真世（AKAZAWA Masayo）



## アルファベットと絵（え）にはどんな「ひみつ」があるのかな？



この本をよんでいくと、  
ひみつが  
はっけんできるかな



私のかんがえは・・・

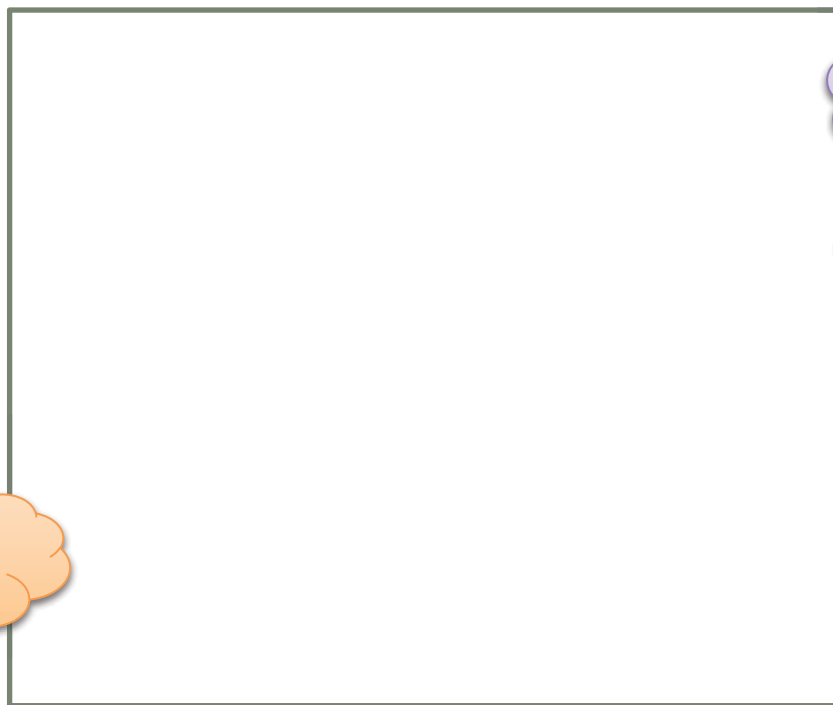
.....

.....

.....

出典：H.A.Rey, Curious George's ABCs, Houghton Mifflin Company, 1998.

## 自分の好きなアルファベットで絵をつくろう！



どんな  
イメージ？  
つよい？  
かわいい？

このアルファ  
ベットをえらん  
だのはね・・・

My Special ALPHABET すきなアルファベットで何(なに)をかいたの？

# 1

## アルファベットを見てみよう

### 大文字(おおもじ)

カタカナでかいているのは、  
アルファベットの「名前」  
(なまえ)といいます。



A

エイ

B

ビー

C

シー

D

ディー

E

イー

F

エフ

G

ジー

H

エイチ

I

アイ

J

ジェイ

K

ケイ

L

エル

M

エム

N

エヌ

O

オー

P

ピー

Q

キュー

R

アー(ル)

S

エス

T

ティー

U

ユー

V

ヴィー

W

ダブルユ

X

エクス

Y

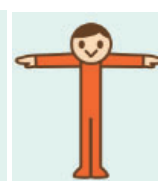
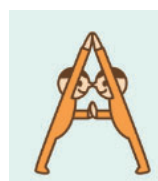
ワイ

Z

ズイー／ゼット

ゆびや からだで 文字をつくってみよう！  
友だちと いっしょに  
やってみても たのしいね。

むずかしい形(かたち)は どれかな？



Aは、水牛(すいぎゅう)の 頭(あたま)の形(かたち)  
から できたんだって。Bはなんだろう？

5000年前



3500年前



3000年前



2600年前



2000年前



(阿原成光『たったコレだけでニガテが消える！  
小学英语3つのポイント』フォーラム・A、2013、p.10)



## 小文字(こもじ)

a

エイ

b

ビー

c

スィー

d

ディー

e

イー

f

エフ

g

ジー

h

エイチ

i

アイ

j

ジェイ

k

ケイ

l

エル

m

エム

n

エヌ

o

オウ

p

ピー

q

キュー

r

アー(ル)

s

エス

t

ティー

u

ユー

v

ヴィー

w

ダブリュ

x

エクス

y

ワイ

z

ズイー／ゼット

大文字(おおもじ)と小文字(こもじ)をくらべてみよう。  
 なにか おもしろいことが はっけんできるかな？

こんなはっけんしたよ！

Oは大文字と小文字で 大きさがちがうだけだね！  
 uとvは、ちがう文字だけど にているよ！



2

アルファベットの大文字と小文字  
をかいてみよう

大文字

A A

B B

C C

D D

E E

F F

G G

まずは  
なぞってみよう



H H

I I

J J

K K

L L

M M

N N

O O

P P

Q Q

R R

S S

T T

U U

V V

W W

X X

Y Y

Z Z



## 小文字

かきじゅんは、ひとつのれいです。  
きれいにかけるように、かきやすいじゅんばんになっています

Aa

b b

c c

d d

e e

f f

g g

h h

i i

j j

k k

l l

m m

n n

o o

p p

q q

r r

s s

t t

u u

v v

w w

x x

y y

z z

ふとい線の下に  
のびている文字  
もあるね



aは**a**, gは**g**という形で  
かけられるときもあるよ。



# 3

## みのまわりにあるアルファベットをさがしてみよう

私たちのみのまわりをしてみると、じつは たくさんのアルファベットがあります。おうちのなか、お店（みせ）のかんばん、みちのとちゅう…。  
「こんなところにも！はっけんしたよ！」「こんなおもしろいのがあったよ！」と みんなで さがしてみましよう。 なんて かいてあるのかな？



Pって、  
なんの  
ことだろう？

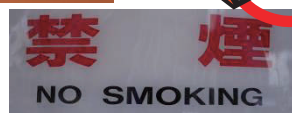
これにも Pが  
はいつて  
いるよ！



きっとこれは…



まちのなかには、まだまだアルファベットがあるね！





なんと  
かいてある  
のかな？



キーボードには  
アルファベットが  
たくさんあるね



\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## アルファベット みつけ！

①みつけた アルファベットを  
うつしてみよう

②みつけた ばしょ

③どんな いみ かな？



chocolate

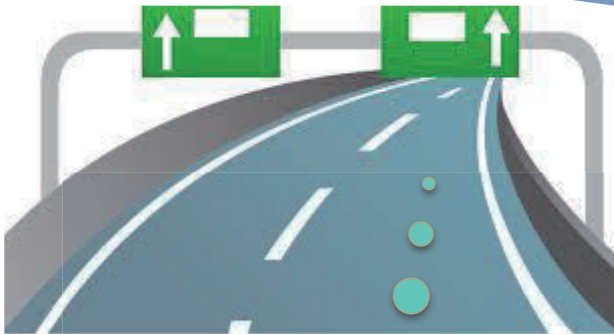
チョコレートの  
つつみがみ

チョコレートって  
かいてあるとおもう

# 4

## ローマ字のしくみをはっけんしよう！

にほんごをえいごの音(おと)であらわせるようにしたのが「ローマ字(じ)」です。  
ローマ字でかいてあると、えいごをはなすひとも、よめるようになります。



みのまわりの かんばんに  
たくさん はっけんできるね

Shrineはえいごで  
「神社(じんじゃ)」  
だよ。

じぶんの なまえ や がっこうのなまえ をかいてみよう



Tanaka-Sin'iti

はじめは 大文字で  
かきます。







## ローマ字 いちらん表

|            | a<br>ア  | i<br>イ           | u<br>ウ            | e<br>エ  | o<br>オ  |                     |                     |                     |
|------------|---------|------------------|-------------------|---------|---------|---------------------|---------------------|---------------------|
| <b>k</b> ▶ | ka<br>カ | ki<br>キ          | ku<br>ク           | ke<br>ケ | ko<br>コ | kya<br>キャ           | kyu<br>キュ           | kyo<br>キョ           |
| <b>s</b> ▶ | sa<br>サ | shi<br>[si]<br>シ | su<br>ス           | se<br>セ | so<br>ソ | sha<br>[sya]<br>シャ  | shu<br>[syu]<br>シュ  | sho<br>[sho]<br>ショ  |
| <b>t</b> ▶ | ta<br>タ | chi<br>[ti]<br>チ | tsu<br>[tsu]<br>ツ | te<br>テ | to<br>ト | cha<br>[tcha]<br>チャ | chu<br>[tchu]<br>チュ | cho<br>[tcho]<br>チョ |
| <b>n</b> ▶ | na<br>ナ | ni<br>ニ          | nu<br>ヌ           | ne<br>ネ | no<br>ノ | nya<br>ニャ           | nyu<br>ニュ           | nyo<br>ニョ           |
| <b>h</b> ▶ | ha<br>ハ | hi<br>ヒ          | fu<br>[hu]<br>フ   | he<br>ヘ | ho<br>ホ | hya<br>ヒャ           | hyu<br>ヒュ           | hyo<br>ヒョ           |
| <b>m</b> ▶ | ma<br>マ | mi<br>ミ          | mu<br>ム           | me<br>メ | mo<br>モ | mya<br>ミャ           | myu<br>ミュ           | myo<br>ミョ           |
| <b>y</b> ▶ | ya<br>ヤ | —                | yu<br>ユ           | —       | yo<br>ヨ |                     |                     |                     |
| <b>r</b> ▶ | ra<br>ラ | ri<br>リ          | ru<br>ル           | re<br>レ | ro<br>ロ | rya<br>リャ           | ryu<br>リュ           | ryo<br>リョ           |
| <b>w</b> ▶ | wa<br>ワ | —                | —                 | —       | —       |                     |                     |                     |
| <b>n</b> ▶ | n<br>ン  |                  |                   |         |         |                     |                     |                     |
| <b>g</b> ▶ | ga<br>ガ | gi<br>ギ          | gu<br>グ           | ge<br>ゲ | go<br>ゴ | gya<br>ギャ           | gyu<br>ギュ           | gyo<br>ギョ           |
| <b>z</b> ▶ | za<br>ザ | ji<br>[zi]<br>ジ  | zu<br>ズ           | ze<br>ゼ | zo<br>ゾ | ja<br>[zya]<br>ジャ   | ju<br>[zyu]<br>ジュ   | jo<br>[zyo]<br>ジョ   |
| <b>d</b> ▶ | da<br>ダ | ji<br>[di]<br>ヂ  | zu<br>[du]<br>ヅ   | de<br>デ | do<br>ド |                     |                     |                     |
| <b>b</b> ▶ | ba<br>バ | bi<br>ビ          | bu<br>ブ           | be<br>ベ | bo<br>ボ | bya<br>ビャ           | byu<br>ビュ           | byo<br>ビョ           |
| <b>p</b> ▶ | pa<br>パ | pi<br>ピ          | pu<br>プ           | pe<br>ペ | po<br>ポ | pya<br>ピャ           | pyu<br>ピュ           | pyo<br>ピョ           |

文部科学省『We Can! 1』より



「き」だったら、「きーい」と のばしてみてね。  
「い」のおとが きこえるね。「い」の音は「i」がつくんだね。



5

# ローマ字とえいごのかきかたをくらべてみよう

ローマ字とえいごのかきかたをくらべてみよう

| カタカナ | ローマ字   | えいご        |
|------|--------|------------|
| ペン   | pen    | pen        |
| オレンジ | orenzi | orange     |
| レモン  | remon  | lemon      |
| テレビ  | terebi | television |
| テーブル | tēburu | table      |

| ローマ字 | えいご |
|------|-----|
| pen  | pen |

ローマ字もえいごもおなじだ

|        |       |
|--------|-------|
| tēburu | table |
|--------|-------|

はじまりの文字と  
はじまりのおとを  
くらべてみると..



ローマ字と えいごは  
「ちがうもの」だけれど、  
おなじものや、にてるところに  
ちゅうもくしてみよう！

ローマ字と、えいごの かきかたを くらべてみると・・・  
おなじところは どこかな？ ちがうところはどこかな？

---

---

---

---

7

### ローマ字の書きかたのまま せかいでつかわれている言葉

※音をのばす記号 ^ をつけないこともあります

|         |   |            |   |
|---------|---|------------|---|
| sumo (  | ) | sushi (    | ) |
| judo (  | ) | tofu (     | ) |
| natto ( | ) | sukiyaki ( | ) |

ほかにはどんな ことば があるかなあ？ みつけてみよう。



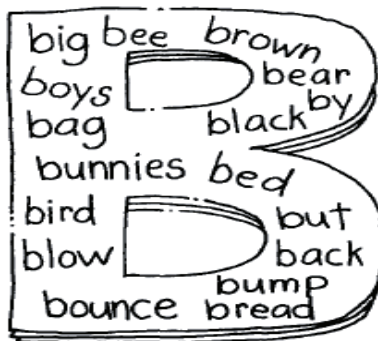
日本のものが せかいにもたくさんつたわって、  
ローマ字のまま つかわれていることばも  
どんどんふえてきたんだよ。



# 6

## ことばの「はじまりのおと」をよくきいてみよう

ここまで、みのまわりにある アルファベットを たくさんみつけてきました。  
ローマ字とちょっと にていて、ちょっと ちがうところもありました。  
とくに、「はじまりのもじ」は、おなじものが おおいことが わかりました。  
そこで、つぎは、ことばのはじまりが おなじことばを あつめてみます。  
とくに「はじまりのおと」に ちゅうもくしてみましょう。なにか はっけんできるかな？



出典：Powell & Hornby, *Learning Phonics and Spelling in a Whole Language Classroom*, 1993, p.55



アメリカの子どもたちも、  
こんなふうにとことばあつめを  
しながら べんきょうするよ！

アルファベットの Bの形をした  
てづくり絵本(えほん)。  
「B」からはじまる ことばが  
あつめられているんだって。

B(b)からはじまることば、しっているものはあるかな？

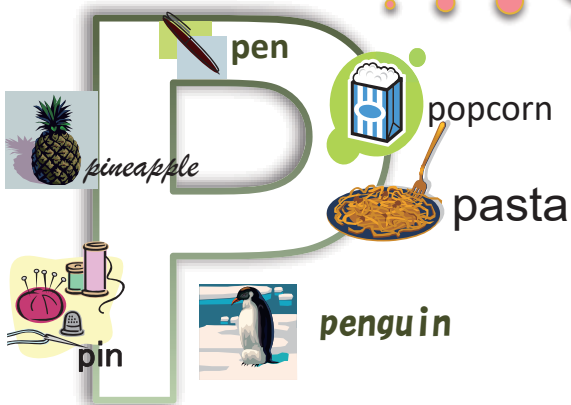


bed (ベッド)  
bag (バッグ)  
black (ブラック)  
bread (ブレッド)...



あれ？ はじまりのおとはどんなおと？ おなじおとだね。

はじまりのおとは、  
どれも...



Pのおとは どんなおと？

---

---

---

---

---

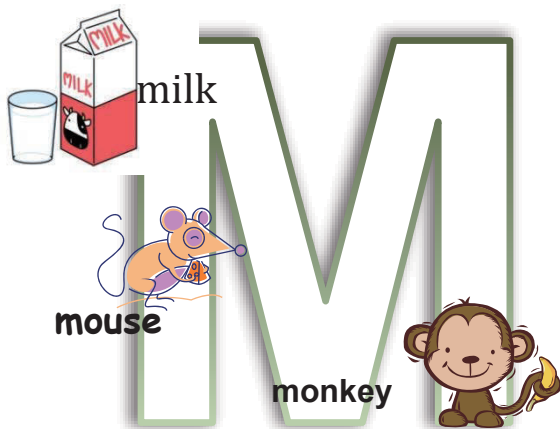
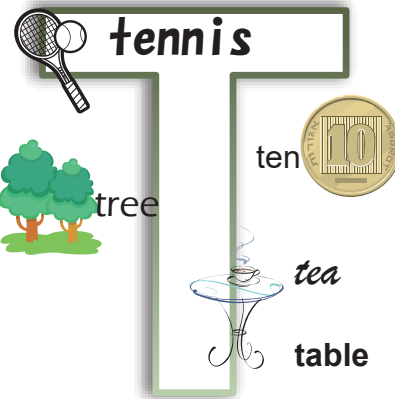
---

ほかの文字ではじまることばもあつめて、はじまりのおとをかんがえてみよう！

Bではじまることばは、どれも「ブッ」という おとから はじまっているように  
かんじましたね。Pではじまることばは・・・どうでしたか？

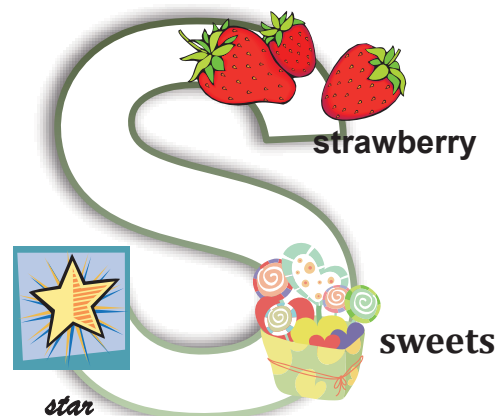
それでは、ほかの文字もあつめてみて、はじまりのおとを かんがえてみましょう！  
また、それぞれの文字のところに、みんながみつけたことばも かきくわえよう☆

T のおとはどんなおと？



M のおとはどんなおと？

S のおとはどんなおと？



# 7

## アルファベットそれぞれの「おと（音）」をしろ

ABC・・・というアルファベットには、「エイ」「ビー」「スィー」という「名前(なまえ)」がありました。でも、もう一つ アルファベットには、「おと(音)」というものが あります。  
「P」ではじまる ことばは、「プッ」という音で はじまりましたね。  
「T」ではじまる ことばは、「トゥ」（たてぶえのタンギングのような音）という音で はじまります。これを アルファベットの「音(おと、おん)」といいます。

### アルファベットの「音」いちらん（きほんとなる音）

a

エア

(アとエの中間)

b

ブッ

c

クッ

d

ドウ

e

エ

f

フ

g

ゲッ

(上の歯を下くちびるに  
のせて「フ」)

h

フ

(息をふーの「フ」)

i

イ

j

ジュ

k

クッ

(したの先を  
うえの歯のウラにつけて「ル」)

l

ル

m

ム

n

ヌ

o

ア

p

プッ

q

クッ

r

ウル

s

ス

t

トゥ

u

アッ

(したの先を  
まるめて どこにもつげずに「ル」)

v

ヴ

(口をタコのようにつきだして)

w

ウ

x

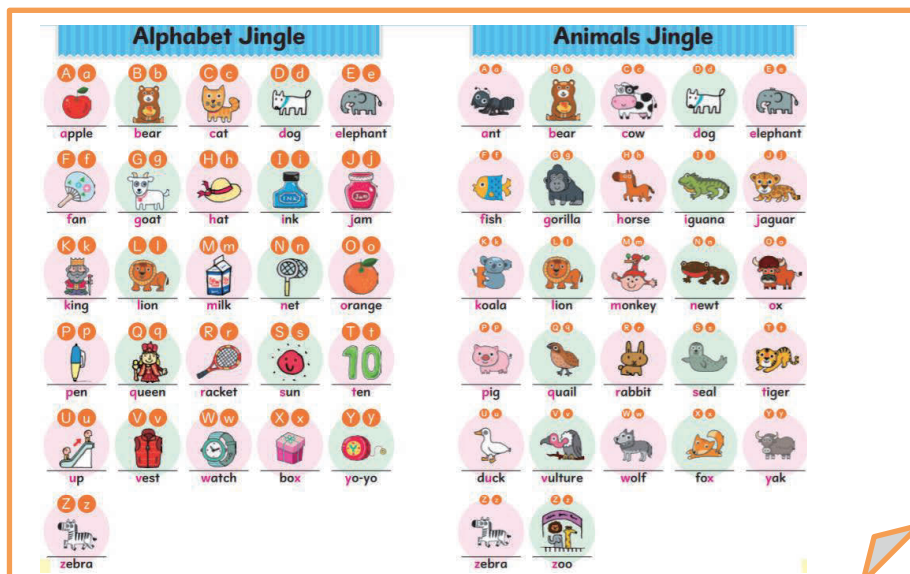
クス

y

イヤッ

z

ズ



"a" says

エイ セツ

a, a

エア エア

apple!

"b" says

ビー セツ

b, b

ブッ ブッ

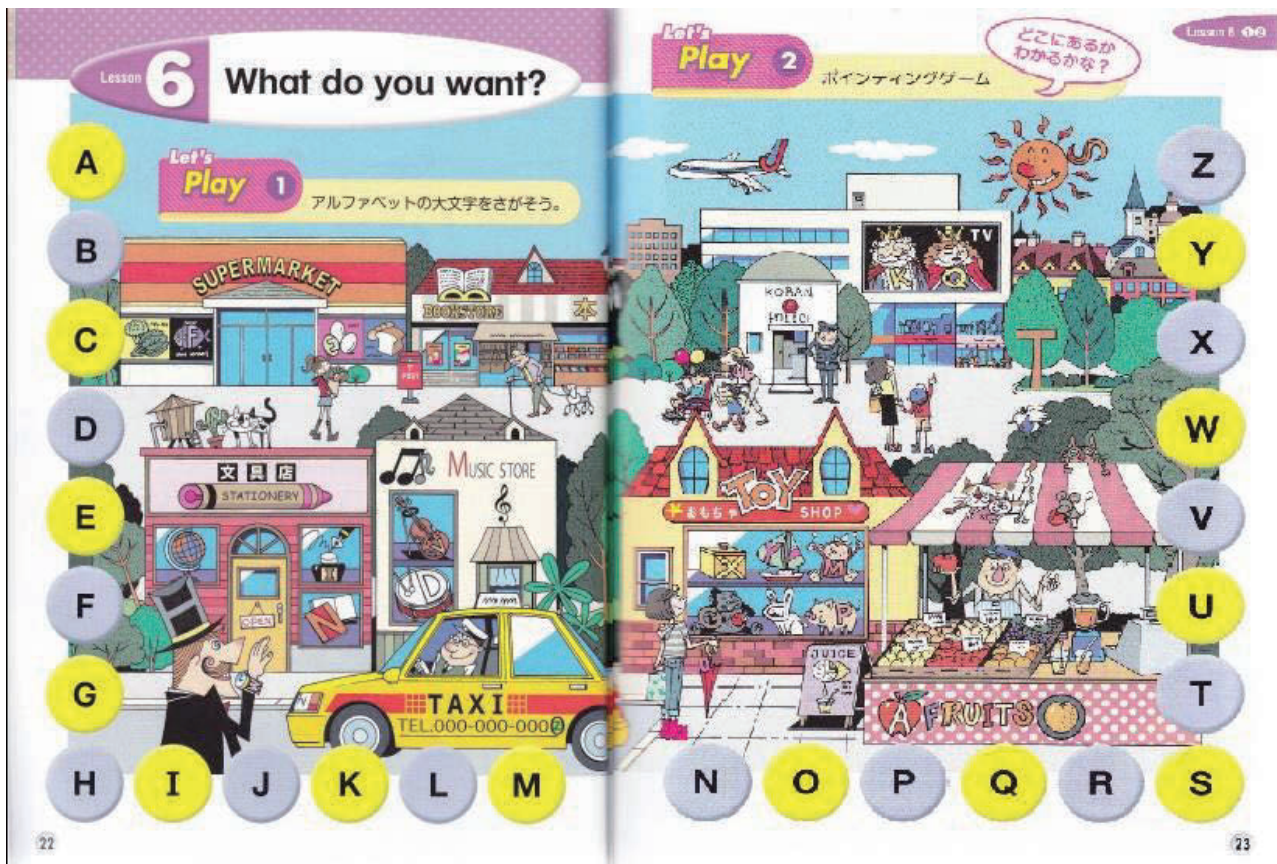
banana!



出典:  
文部科学省『We Can! 1』



文字をみつけたら、そのことばの音（とくに「はじまりの音」）にちゅうもく！



出典: "Hi, friends! 1", pp.22-23.



Dの文字がかくれているのは・・・Drum(ドラム)だね！  
d(ドウ) ・ d(ドウ) drum!(ドゥラーム)

Tもあったよ。木(Tree)にかくれていたよ。  
t(トウ) ・ t(トウ) tree!(トゥリー)だね。



私のはっけん！は・・・

.....

.....

.....

.....



## 8

## 「はじまりのおと」をえらんでみよう

どんなおと(音)で はじまっているのかな? と ちゅうもくすると、  
 どんな文字(アルファベット)で はじまることばなのか が よそうできるようになります。

「おと(音)」と「アルファベット(文字)」のひみつ、だんだん はっけんでてきましたね!

どの絵とどのことばがむすびつくかな。  
 はじまりのおと(音)と文字にちゅうもくしてみよう!

|    |                                                                                     |        |                 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------|
| 1. |    | ●————● | <b>B</b> ook    |
| 2. |    | ●      | <b>D</b> og     |
| 3. |   | ●      | <b>C</b> at     |
| 4. |  | ●      | <b>M</b> onkey  |
| 5. |  | ●      | <b>R</b> abbit  |
| 6. |  | ●      | <b>G</b> orilla |
| 7. |  | ●      | <b>T</b> ree    |
| 8. |  | ●      | <b>S</b> un     |

どんな おと だったかな?

S T M R B G D C



どんな文字ではじまるのか、チャンツや うたのことばに ちゅうもくしてみよう！

### Three Little Monkeys

Three little **m**onkeys jumping on the **b**ed  
One fell off and **b**umped his **h**ead  
**M**ama called the doctor  
And the doctor **s**aid  
"No **m**ore **m**onkeys jumping on the **b**ed!"

Two little **m**onkeys jumping on the **b**ed  
One fell off and **b**umped his head  
**M**ama called the doctor  
And the doctor said  
"No **m**ore **m**onkeys jumping on the **b**ed!"

One little **m**onkey jumping on the **b**ed  
One fell off and **b**umped his head  
**M**ama called the doctor  
And the doctor said  
"No **m**ore **m**onkeys jumping on the **b**ed!"



### Head, Shoulders, knees and toes



**H**ead, shoulders, knees and toes, knees and **t**oes,  
**H**ead, shoulders, knees and toes, knees and **t**oes,  
Eyes and ears, and mouth and **n**ose,  
**H**ead, shoulders, knees and toes, knees and **t**oes.

## 9

# おと（音）のたしざんをして ことばをつくろう！

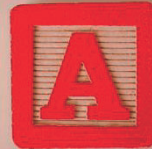
アルファベットの 一つ一つの 「おと（音）」を くっつけると、  
1つの ことばの 「おと（音）」になります。  
ちょっとずつ 文字をうごかしながら、こえにだして やってみましょう。



「クッ」

「エア」

「トゥ」



どんな おとになるかな？



あ、「キヤット」だね！ ねこのことだね。

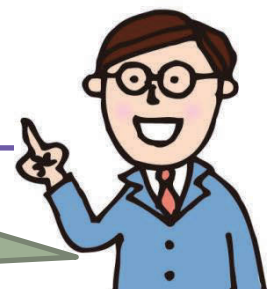


3文字の「おとのたしざん」をして、どの ことばか あててみよう！

|   |   |   |   |        |                                                                                       |
|---|---|---|---|--------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| c | a | t | ● | —————● |    |
| c | a | p | ● | ●      |    |
| d | o | g | ● | ●      |    |
| b | a | g | ● | ●      |   |
| b | e | d | ● | ●      |  |
| r | e | d | ● | ●      |  |

ほかにも よめそうな ことばはあるかな？ みつけたら ここにかいてみよう！

ちょっとちがう よみかたのときも あるよ。  
 じぶんで ルールを はっけんしていくのも たのしいね！



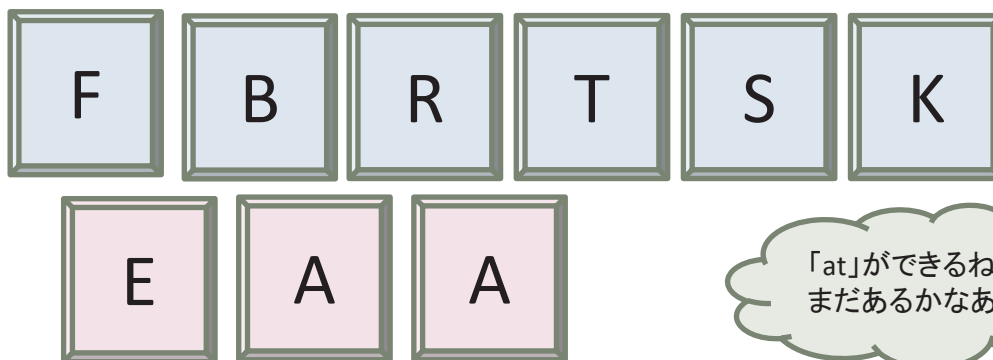
10

# もじをくみあわせて どんな ことばができるかな？

アルファベットの文字を くみあわせると どんどん いろいろな  
ことばができるんだね。

それでは、もんだい！

ここにあるアルファベット9つから くみあわせてできる ことばはあるかな？  
また、ぜんぶ つかってできる「スペシャルことば」は なんだろう？



みつけたら ここにかいてみよう！

みつけた ことばを ならべて 文もつくれるかな？

Special word is





11

おはなしを よんでみよう。



I'm a cat.  
My name is Mat.  
I have a cap.  
I like a red cap.



Mat

I'm a fox.  
My name is Max.  
I sit on a bed.  
I like a pink bed.

Max



We are in a box.  
We are good friends.



どの絵のことを  
いっているの  
かな？



ゆびで さしながら  
よんでみよう！



12

えいごでかいてみよう！  
おもいをとどけよう！



## ■じぶんのことをしょうかいしよう

こんにちは！ おはようございます。

Hello! Good morning.

わたしは【 なまえ 】です。

I'm

たんじょうびは、○月○日です。

My birthday is

st  
nd  
Rd.  
th

わたしは\_\_\_\_\_がすきです。

I like

すきなたべもの(いろ)は\_\_\_\_\_です。 food color

My favorite is

わたしは\_\_\_\_\_ができます。

I can

私は\_\_\_\_\_になりたいです。

I want to be a



Thank you very much.

Happy Birthday.



MERRY  
CHRISTMAS

Merry Christmas.

This is for you!



a present



|   |          |  |    |           |  |
|---|----------|--|----|-----------|--|
| 1 | January  |  | 7  | July      |  |
| 2 | February |  | 8  | August    |  |
| 3 | March    |  | 9  | September |  |
| 4 | April    |  | 10 | October   |  |
| 5 | May      |  | 11 | November  |  |
| 6 | June     |  | 12 | December  |  |

# できるようになったことを ふりかえろう

できるようになったことに 色をぬろう！  
たくさん できるようになりました



アルファベットの  
大文字のなまえが  
よめるようになった

みのまわりにたくさん  
アルファベットを  
みつけたよ！



アルファベットの  
大文字がかける  
ようになった



アルファベットの  
小文字のなまえが  
よめるようになった

アルファベットの  
小文字がかける  
ようになった

ローマ字のしくみが  
わかった



ローマ字で  
じぶんのなまえが  
かけるようになった



ローマ字とえいご、にているところ  
をみつけられた



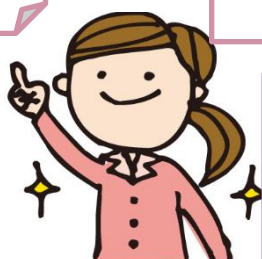
ことばの  
はじまりの音が  
わかった

アルファベットそれぞれ  
に音があることが  
わかった

おとを きいて  
どの文字のおとか  
わかるようになった

おとの たしざんで  
3文字のことばが  
よめるようになった

知っていることばの  
おはなしを  
よむことが  
できるようになった



じぶんのことを  
しょうかいする文が  
なぞってかけたよ

## 【指導編】

ここからは、指導編です。  
前半のパンフレット(児童向け)の活動について、

- ・この活動にはどんな意図があるのか？どんなところに「気づき」を向けたいのか？
- ・活動のあいだにはどんな系統性(指導の順番)があるのか？

ということについて、指導者(先生方)からの目線で示していきます。

とくに、文字指導の段階になると、  
アルファベット(大文字、小文字)をただ書かせればよいのだろうか？  
今までの聞く・話す活動を通した英語経験とどのようにつながるのか？  
フォニックスをどんどん指導したほうがよいのだろうか？  
という疑問が出てくると思います。

本書は、その間を丁寧につなぐために、すこし時間をかけて文字に出会い、  
これまでの豊かな活動と結びつけた、音声から文字へのつながりを大切にする  
文字指導の例・活動例を示したいという意図で作成されました。

文字指導を丁寧に行うことは、  
多様な学力の実態がある学校現場において大切なことだと考えます。  
一人でもくもくと文字を「覚え」たり、何度も何度も「練習」するのではなく、  
子どもが文字の面白さやそこにあるルールに「気づき」、  
そのうえで他者との協働や交流のなかでその「気づきを共有」することが大切です。  
文字に対する気づきが多い(早い)子どもたちと、  
苦手意識を感じたり、興味がまだ醸成されていない子どもたちとをつなぎ、  
互いに高め合うことができるのではないのでしょうか。

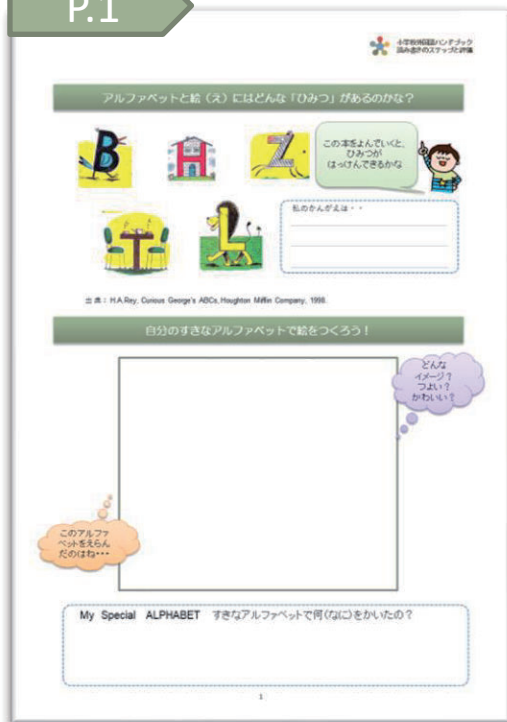
児童用パンフレットの内容のなかでも、とりわけその特徴的な部分について、  
活動の設定の意図や具体的な例を示しています。  
全体を順序通りにすすめていくのではなく、見開き2ページの単位で、  
日々の授業や活動に取り入れることもできます。

最後には、これからの「読むこと」の指導につなげていく視点として、  
児童が実際にどのように読んでいるのかを把握し、「つまり分析」から  
丁寧な日々の指導を考えることができるように、そのやり方を具体的に紹介しました。  
また、読むこと、書くことの具体的な発達のステップについても、最後に表として載せました。

一人ひとりのポートフォリオ評価を行うことは実際にはむずかしいと思いますが、  
こうした読むこと・書くことのステップを教師が把握し、子どもの読む実態を「見極め」、  
日々の授業や言葉がけにおいて、こうした視点を少しでも持つことができると、  
一人ひとりにとっての丁寧な指導につながるのではないかと思います。

指導編をご覧いただき、活用いただければ幸いです。

## P.1



### 【上の活動の意図】

本冊子がねらいとする、アルファベットの文字と音声のつながりについて気づかせる問いかけになっています。…その文字を頭文字としてもつ動物などが絵になっています。すぐに答えがでなくても、本冊子全体を通して、発見できるようになっています。

### 【実践例】

冊子の途中で、文字の「音」に意識が向いたときに、このページに戻って「b, b, bird」などと確認するのもよいと思います。

### 【下の活動の意図】

文字の形により意識を向けることをねらいとしています。自分で絵を描くことで、文字の形がより記憶に残ることも意図しています。

中にはすぐに文字と音のつながりに気づく子もいるでしょう。その場合は、下の活動で、アルファベットとその音から始まる単語の絵を書くように声かけをしてもよいと思います。

## P.2,3



### 【活動の意図①】

アルファベットの形への意識を向けることが目的です。

### 【実践例①】

指文字や身体で文字の形を再現させてみます。どちら側に丸い部分がついているのか(P)など、間違いやすいところにも意識が向きます。次のページではそれを意識して書くことのできるページも用意しています。

また、大文字と小文字の形の比較を通して、異なる形の組み合わせについても意識化させます。とくに、「大文字と小文字の形が異なる」組み合わせの学習・定着が難しいため、まずは形が違うんだということを意識させ、次ページの書く練習のときに少し声掛けをしながら活動できると良いと思います。

### 【活動の意図②】

アルファベットの歴史的な位置付けについて興味・関心を喚起します。

### 【実践例②】

Aは水牛の頭だとしたら、Bはどのような形から出来たのかな？と問いかけます。日本語のひらがな（もとは漢字）にも由来があるように、アルファベットも「象形文字」であることを知り、文字や文化的な背景へ関心を持つきっかけづくりにもなります。

### ※カタカナ表記について

今回はパンフレットを子どもたちが自分で読み進めることもできるように、カタカナをふっていますが、できるだけ音声を聞きながら、カタカナに左右されず英語らしい音声を聞く機会を作ることが必要です。



## P.6,7

### 3 私のまわりにあるアルファベットをさがしてみよう

私たちのまわりをみると、じつは たくさんのアルファベットがあります。  
おうちのなか、お店（みせ）のかんばん、みちのちやうー。  
「こんなところにもはっぴんしたよ！」「こんなおもしろいのがあったよ！」  
と みんなで さがしてみよう。なんて かいてあるかな？



### 【活動の意図①】

わたしたちの生活にはたくさんのアルファベットが溢れていることに気づかせたいというねらいです。また、それを「読もう」とすること、実は読めていることに気が付けさせます。さらには文字と音の関係性についてすでに関心を高めていたり、気づきを得ている子どもを把握することができます。そのような子どもがいれば、全体での交流を通して全体の気づきを高めることにもつながるのではないのでしょうか。

### 【実践例①】

それぞれの図や写真が何を表しているのかを、ペア活動やグループ活動で交流していきます。

すぐに認識できるようにであれば、なぜそれが読めるのかを聞き出してみるとすでに文字と音の関係性について気付いている子どももいます

（例：Pについて、「パーキング」の「パ」だから（paだから）Pと書いてあるのでは？という発言が出る）。そのようなつぶやきを拾い、全体に共有できるとよいですね。

### 【活動の意図②】

アルファベットみつけ！の表を埋めることで、身近なアルファベットを自ら探そうとする機会をつくるとともに、それを「読もう」とすることで、文字と音への関係に意識を持たせることがねらいです。

### 【実践例②】

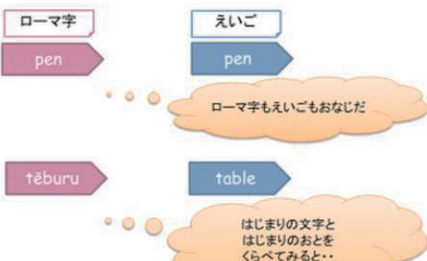
家や身の回りにあるアルファベットみつけを行い、表に埋めていくことができると面白いと思います。さらに集めたい子どもには、「自分だけの辞書」に書き加えるように伝え、後の「初頭音」の気づきにも活用できます。

## P.8-11

### 5 ローマ字とえいごのかきかたをくらべてみよう

ローマ字とえいごのかきかたをくらべてみよう

| カタカナ | ローマ字   | えいご        |
|------|--------|------------|
| ペン   | pen    | pen        |
| オレンジ | orenzi | orange     |
| レモン  | remon  | lemon      |
| テレビ  | terebi | television |
| テーブル | tēburu | table      |



### 【活動の意図①】

身の回りのローマ字を意識して、ローマ字の筆記のしくみを理解する（子音＋母音であること）ことがねらいです。また、ローマ字で書くことが要求される自分の情報について書いてみます。（国語（小3）の範囲です）

### 【実践例①】

ローマ字表を見ながら色々なことばを書いてみる活動を行います。そのなかで、はじめは大文字で書くというルールや、nを「ん」と読みたい場合や小さい「や・ゆ・よ」を含む表記の仕方も触れます。ここでヘボン式か訓令式か、どちらに注目させるかが議論のあるところです。

とくにローマ字の仕組みを理解するためには訓令式（tu, syuなど）が理解しやすいのですが、英語の綴りはヘボン式（tsu, shuなど）が一般的であり、英語学習ではヘボン式が理解できるようになると良いことを伝えたいでしょう。

### 【活動の意図②】

書き方を比べてみる活動については、英語のつづりはローマ字と同じではないこと（英語は独自のつづりがあるということ）をおさえ、その上でとくに頭韻、子音の結びつきはかなり似ていること（p, tなど）に意識を向けられることがねらいです。

### 【実践例②】

冊子の例について、ローマ字表記と英語表記の共通点や相違点をペアやグループで出し合います。そのなかで、ローマ字は英語と異なるものであるということをおさえるとともに、とくに「始まりの音（初頭音）」は同じになっていること（共通点）に最終的には意識を向けられるような声掛けができると良いです。



## 6 ことばの「はじまりのおと」をよくきいてみよう

ここまで、おのまわりにある アルファベットを たくさんみつけてきました。ローマ字とちよっと 似ていて、ちよっと ちがうところもありました。とくに「はじまりのおと」は、おなじものが、おなじことが わかりました。そこで、つぎは、ことばのはじまりが おなじことばを あつめてみます。とくに「はじまりのおと」に、ちやうどくしてみましょう。なにが はじまりのおとかな？



アメリカの子どもたちは、こんなふうに、ことばあつめをしながら、べんきょうするよ！

アルファベットの、おのの形をしたてまり絵本(えほん)。「B」からはじまる、ことばがあつめられているんだって。

「B」からはじまることば、しっているものはあるかな？

bed (ベッド)  
bag (バック)  
black (ブラック)  
bread (ブレッド)...

あれ？ はじまりのおとはどんなおと？ おなじおとだね。

はじまりのおとは、どれも...



Pのおとは、どんなおと？

### 【活動の意図】

この活動のねらいは、身の回りで見つけた単語を用いて、最初の文字が表す音を意識することにより、文字と音声のつながりに気付かせることです。ここでは文字と音の結びつきが複雑ではなく発音に意識がむきやすい文字を選択しています。フォニックスの指導でも、p, b, t, d, c, g, m, n, sなどの子音から指導します。

### 【実践例】

まず最初に全体で、Bの例を取り扱います。Bの「音」に注目させるように、Bから始まる単語を読み上げます。そこで、「始まりの音を聞いていてね。どんな音が聞こえてくるでしょう？」と問います。そうすると子どもたちは、「ブツ」という音がした、という応答をしてくれます。そこで「そうだねえ。どれも、ブツという音が聞こえますね。では、Pのつく言葉はどうでしょうか？」とPのつく単語を一つ一つ確認していきます。

このように全体でB, Pをおさえ、とくに「破裂音」を意識させることにより（口の前にティッシュを広げて持ち、息を強く吐きながらPを発音し、ティッシュが強く揺れることを見せると効果的）、Pの文字と「音」の結びつきが理解しやすくなるでしょう。

その後、ペアやグループで、冊子にある例（T, M, S）を見ていき、全体で交流することによって、それぞれの「文字」は「エイ、ビー、スイー」という「名前」だけでなく「音」があることに意識を向けるようになるでしょう。

## 8 「はじまりのおと」をえらんでみよう

どんなおと(音)で はじまっているのかな？ と、ちやうどくすると、どんな文字(アルファベット)で はじまることばかな？ か、よそうできちやうどくします。

「おと(音)」と「アルファベット(文字)」のひみつ、だんだん、はっけんできちやうどくね！

どの絵とどのことばがはっけんできちやうどくね、はじまりのおと(音)と文字にちやうどくしてみよう！

- |    |  |   |        |
|----|--|---|--------|
| 1. |  | B | ook    |
| 2. |  | D | og     |
| 3. |  | C | at     |
| 4. |  | M | onkey  |
| 5. |  | R | abbit  |
| 6. |  | G | orilla |
| 7. |  | T | ree    |
| 8. |  | S | un     |

どんな おと、だったかな？

S T M R B G D C

どんな文字で はじまるのか、チャンツやうたのこたはにちやうどくしてみよう！

### Three Little Monkeys

Three little monkeys jumping on the bed  
One fell off and bumped his head  
Mama called the doctor  
And the doctor said  
"No more monkeys jumping on the bed!"

Two little monkeys jumping on the bed  
One fell off and bumped his head  
Mama called the doctor  
And the doctor said  
"No more monkeys jumping on the bed!"

One little monkey jumping on the bed  
One fell off and bumped his head  
Mama called the doctor  
And the doctor said  
"No more monkeys jumping on the bed!"

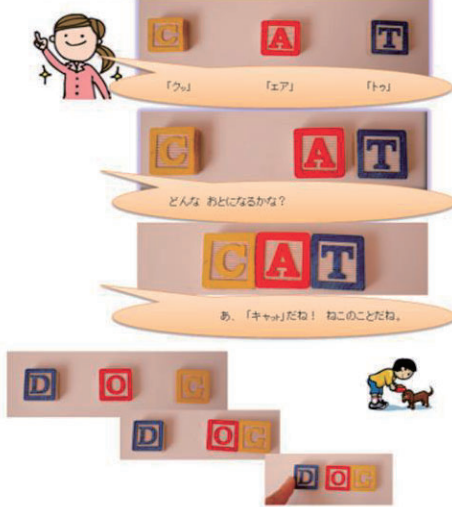


### 【活動の意図】

アルファベットには代表的な「音」があることに気づかせたいねらいがあります。ここでアルファベットジングルを紹介したり、知っているチャンツすることで、上からの知識の押し付けではなく、子ども自らの気づきの上に、文字の代表的な「音」という知識が形成されます。それを踏まえて、はじまりの音をえらぶ活動を行い、意識を向けるとともに、わかる！読める！を引き出します。

9 おと（音）のたしざんをして  
ことばをつくろう！

アルファベットの「つ」の「おと（音）」をくっつけて、  
1つの「ことば」になります。  
ちよっとずつ 文字をくっつけて、こえにだして やってみましょう。



## 【活動の意図・実践例】

子音＋母音＋子音の3文字単語の足し算です。  
ここでは、子どもがひとりでも音の足し算に気づけるようにカタカナで示しましたが、できれば、英語の音声を聞かせながら、アルファベットカードを実際に動かして体感させることができたらよいと思います。

一旦、CATやDOGを全体で動かしながら確認すれば、次ページのクイズも仕組みはわかるとおもいます。  
ただし、それぞれの「音」の知識がない子どもたちが多ければ、「b」「d」「g」などの各音を教師がゆっくりと提示し、足し算する様子を確認しながら進めることが重要です。

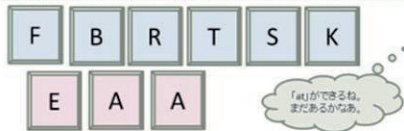
決して急がず、興味を持ち、「できた！」「わかった！」を大切にしたいところです。

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| c | a | t | → | 猫 |
| c | a | p | → | 犬 |
| d | o | g | → | 犬 |
| b | a | g | → | 犬 |
| b | e | d | → | 犬 |
| r | e | d | → | 犬 |

例えば2文字母音 (ie, ea など) や  
2文字子音 (sh/ch など)、「silent  
e」についても児童の実態に応じて  
導入してもよいですが、一番の  
基本として「音の足し算」に気づか  
せていきたいと思います。

10 もじをくみあわせて  
どんな ことばができるかな？

アルファベットの文字をくみあわせると どんどん いろいろ  
ことばができるんだね。  
それでは、もんだい！  
ここにあるアルファベット9つからくみあわせてできる ことばはあるかな？  
また、せんぶ つかってできる「スペシャルことば」は なんだろう？



みつけたら ここにかいてみよう！

みつけた ことばを ならべて 文もつくれるかな？

Special word is



## 【活動の意図①】

3文字単語を発展させて、アルファベットから単語を作り出してみることで、これまで知っている単語と「音の足し算」のしくみを結びつけていくねらいがあります。また、いろいろと組み合わせるなかで、一つ文字を変えると違った単語になり、音の変化（初等音を変えるとどう変化するか⇒脚韻は一緒のままであるなど）にも気づきを得られればよいと考えます。

## 【実践例①】

ここにある9文字をつかって（何度その文字を使っても良いとする）、まずは、a と t で at になることを確認します。

そして、まずは個人⇒ペア⇒グループなどで、できた単語を共有していくようにします。そのなかで、意図①に示したような気づきを得られるとよいと思います。

子どもたちが作る単語例としては、bear, tea, beef, see, sea beach などがあります。動詞では、eat, ate, take など思いつくでしょう。最終的なスペシャルワードはbreakfastです。このスペシャルワードが見つかったら、おいに褒めてあげてください。

## 【活動の意図②】

見つけた単語を並び替えて、文を作る活動を通して、英語の文の仕組み（SV0など）に意識を向けることがねらいです。

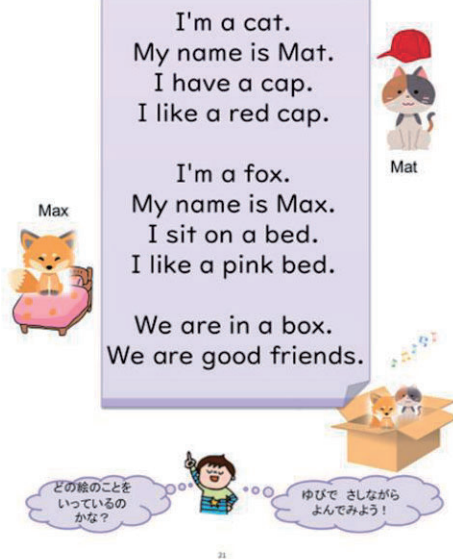
## 【実践例②】

ペアやグループで、「主人公」（主語、だれが）になれる単語はあるかな？と考えていきます。その次に、「どうした」（動詞）や「何を」（目的語）を考えます。適宜、児童たちの様子に応じて、教師が声かけをしていったり、全体でよいアイデアを共有したりして、楽しんでつくれるとよいでしょう。たとえば、A bear eat(s) beef at sea. といった文が作れます。

なお、ここでは3単語のSなどには細かくこだわらず、文の「構造」について、意識を向けることを重視したいと思います。

11

おはなしを よんでみよう。

小笠原市立図書館  
読み聞かせのボランティア

## 【活動の意図】

慣れ親しんだ単語を中心とした、短いお話を自力で読めるかどうかの活動です。読む様子を評価することで、どこでつまずきが見られるかを把握することもできます。

## 【実践例・指導のポイント】

児童に、個人、またはペアで読ませます。

その際には、指でなぞりながら、一つひとつの単語の文字に意識を向けられるように、声をかけます。

また、イラストが近くにあるので、それを手がかりに読むことを推奨しましょう。イラストがあれば、

「こういうことかな?」と文字（とくにはじまりの文字と音）を手がかりにしつつ、さらに【意味】のつながりもヒントに、読むことができるようになります。

一人では難しい場合も、ペアで一緒に読むことで、気付きを共有し、「読めた!」という達成感につながると思います。

★name や sit など、児童の状況に応じて、ヒントを出したほうがよいかもしれません。

★一人やペアでは難しい場合は、先生が大きくスライドに映し出し、先生がゆびで辿りながら読む様子を見せて、モデルを示すことも重要です。

読むことの  
つまずき分析

I'm a cat.

My name is Mat.

I have a cap.▲Cup  
カップI like a red cap.◎イラスト  
からCapと修正

I'm a fox.

My name is Max.

I sit on a bed.

I like a pink bed.

We are in a box.

▲フレンズ  
修正なしWe are good friends.

## 【読むことがどこまでできているのか?】

## 【どこでつまずいているのか?】

を知ること、日々の指導で意識していきたいことが見えてきます。

左は、ある児童がこのお話を読んだときの様子をメモしたものです。何も書かれていないところは、ただしく読めたところです。

## 【つまずきの実態】

▲Cap を「カップ」(Cup) と読んだ(3行目)。

⇒しかし◎4行目には、イラストを頼りに、「Cap」と正しく言い換えた。

◎Goodは読めた

▲friends は「フレンズ」と読み、イラストを見ても修正(正しい読み)はできなかった。

## 【本児童の読みの発達状況】

◎本児童は、文字の「音」を頼りに一定、読めている。

▲しかしながら、3文字単語の中間の音については、しっかりと理解し、文章中に適用できているわけではない。

▲friendsについては、目にした経験もあるはずだが、二文字母音については難しく感じている。

児童がどのように読んでいるのかを観察し、**できているところを見つめ、難しさを見極めます。**

⇒次の指導が必要なポイント

また、**字面を追うよりも、意味を考えて「修正」している姿のほうが大事です。**

## 読み書きのステップ・ 評価記録

児童のどのような姿を観察し、評価するポイントにすればよいのか？こうしたポイントを理解し、日々の授業での言葉がけができるとよいでしょう。

| 読むこと・書くことの評価記録シート                        |          |       |
|------------------------------------------|----------|-------|
| Name _____                               |          |       |
|                                          |          | check |
| (1) 【アルファベットの音の認識】 【気づき】 ★は発展            |          |       |
| ・聞いて音の違いがわかる                             |          |       |
| ・単語の初めの音が同じ語がわかる                         |          |       |
| ・単語の終わりの音が同じ語がわかる (★)                    |          |       |
| ・単語の間の音が同じ語がわかる (★)                      |          |       |
| (2) 【アルファベット文字と音の関係】 ★は発展                |          |       |
| ①アルファベットの「名前」                            |          |       |
| 大文字                                      | 聞いてわかる   |       |
|                                          | 発音できる    |       |
|                                          | 書くことができる |       |
| 小文字                                      | 聞いてわかる   |       |
|                                          | 発音できる    |       |
|                                          | 書くことができる |       |
| ②アルファベットの「音」                             |          |       |
| 大文字                                      | 聞いてわかる   |       |
|                                          | 発音できる    |       |
|                                          | 書くことができる |       |
| 小文字                                      | 聞いてわかる   |       |
|                                          | 発音できる    |       |
|                                          | 書くことができる |       |
| 3文字単語が読める・書くことができる (★)                   |          |       |
| 3文字単語などで書かれた簡単な話を<br>意味をとらえて読むことができる (★) |          |       |
| 慣れ親しんだ単語を聞いて書くことができる (★)                 |          |       |
| 【英語の表記法】                                 |          |       |
| 大文字と小文字を組み合わせることができる                     |          |       |
| 文字を4線上に正しく書ける                            |          |       |
| 自分の名前が書ける                                |          |       |
| 単語の間にスペースを入れて書ける                         |          |       |
| クエスチョンマークやピリオドをつけて書ける                    |          |       |



## 参考文献リスト

### ■アルファベット学習に使える絵本■

\*LoisEhlert, *Eating the Alphabet*, Red Wagon Books, 1989

\*H.A.Rey, *Curious George's ABCs*, Houghton Mifflin Company, 1998.

…各アルファベットから始まる食べ物や動物の絵本です。そこから、単語の頭韻（はじめの音声）に気づかせていく活動もできます。

\*MarionBataille, *ABCD*, Roaring Brook Press, 2008.

…アルファベットのポップアップブックです。Vを鏡で2つ照らし合わせたものがW,OとPそれぞれに尻尾がはえたのがQ,Rと、楽しいポップアップでアルファベットの形の認識に役立ちます。

\*Bob Raczka, *Lemonade and Other Poems Squeezed from a Single Word*, Roaring Brook Press, 2011.

…本パンフレット（p.21）のヒントを得た本です。一つの単語（例えばlemonade）に含まれる文字を組み合わせてできる単語（例えばmade, momなど）のみを組み合わせて、そのもとの単語（lemonade）にまつわる詩が作られています。ある程度の単語が自分の語彙としてあれば自分たちでも挑戦できます。

\*Jill Bennett, *Noisy Poems*, Oxford University Press, 1987.

…オノマトペ（擬音語）が豊富に含まれている詩。雨の降るようすを “dot a dot dot” で表すようなオノマトペは、文字と音声のつながりに気づかせていく際にとっても有効な手段だと思います。

### ■フォニックスを知りたい方へ■ （様々な教材が出版されています）

\*松香洋子『フォニックスってなんですか？』松香フォニックス研究所、2008年。

…フォニックスとは？なぜその学習が必要と言われているのか？という素朴な質問の答えを与えてくれる入門書です。

\*Mayumi Tabuchi, Yoko Matsuka, *We Can! Phonics*, McGraw Hill ELT, 2009.

…英語の音と文字の関係に対して、指導者が一方的に上から指導するのではなく、子どもの気づきや発見を尊重して文字学習を進めようとする指導展開となっています。

\*松香洋子ほか『Phonics Activities for Fun フォニックスアクティビティ集』、松香フォニックス研究所、2003.

…歌やチャンツ、活動を通して文字と音の関係に気づかせる活動が豊富です。

\*Wiley Blevins, *Phonemic Awareness Activities : for Early Reading Success*, Scholastic Professional Books, 1997.

…英語圏でもアルファベットの音声と綴りを結びつけることは子どもたちにとって難しいことです。幼稚園段階から楽しい活動のなかで、文字へと関心を高めていく様子が具体的な活動とともに紹介されています。

\*阿原成光『たったコレだけでニガテが消える！小学英语3つのポイント』フォーラム・A、2013年。

…中学校英語教育で長年教鞭をとってきた筆者。新英語教育研究会が従来から提示してきた文字と音声を意識させる取り組み、また基本的な文構造の理解について、具体的な実践を紹介しています。

\*山本玲子・田縁真弓『小学校英語 だれでもできる英語の音と文字の指導』三省堂、2020年。

…音と文字の関係への気づき（音韻認識能力の育成）を丁寧に、たくさんの具体的な活動とともに紹介してあります。

### ■アルファベットの大文字・小文字の指導について知りたい方へ■

\*手島良『これからの英語の文字指導——書きやすく 読みやすく』研究社、2019年。

…大文字と小文字の指導の具体例などとても丁寧な指導の過程が書かれています。

### ■子どもの身近な生活に即した教材づくり、

子どもの「発見」を尊重した言語教育に関心がある方■ （Whole Language）

今回この冊子は、ホール・ランゲージ（Whole Language）の考え方をもとに小学校外国語での文字指導のあり方を紹介しています。詳しく学びたい方は、以下の文献・論文がおすすめです。

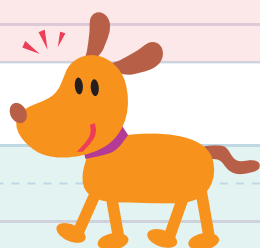
\*アレン玉井光江『小学校英語の教育法：理論と実践』大修館書店、2010年。

\*赤沢 真世「ホール・ランゲージにおけるフォニックス指導の位置づけとその実践：C.S. ウィーバーの所論を中心に」『日本児童英語教育学会研究紀要』日本児童英語教育学会、2004年、第23号、pp.21-29。

\*「現代アメリカにおける4ブロックス・アプローチの理論と実践——ホール・ランゲージとフォニックスの統合をめざして——」『日本児童英語教育学会研究紀要』日本児童英語教育学会、第26号、2007年、pp.1-14。







DOG

制作・著作

赤 沢 真 世 (AKAZAWA Masayo)

佛教大学教育学部教育学科 准教授

2022 (令和 4) 年 3 月発行

基盤研究 (C) (基金) 課題番号 17K04592

「小学校英語教育の文字指導における評価方法の開発」(2017 - 2021 年度)